

# 学校法人 中村産業学園 中期事業計画(平成28年～32年)

平成27年10月16日  
総合企画部



# 1. 次期中期事業計画(平成28年～32年)の概要

中期事業計画は、前中期事業計画の振返り、大学を取り巻く社会環境の急速な変化等を踏まえ、平成28年度から32年度を **創設者の想いを継承した「第2の創生期」**と位置づけ、本学園のあるべき姿を明確にし、改革を更に推進・完遂する。

## 中期 目標

実践的教育、地域に根ざした研究・社会貢献活動を通して、九州を基盤とした「地域密着型大学」を目指す。



## 実行 計画

中期目標を具現化するため、2領域（推進・支援）5分野（教育・研究・社会貢献・人材育成・経営基盤）毎に柱となる10項目、項目別の重点施策及び具体策を設定し取り組む。



## 点検 評価

計画を推進するため、PDCAを着実に実行し、目標管理を徹底する。

## 2. 次期中期事業計画(平成28年～32年)【概念図】

建学の理想

産学一如

中期目標

実践的教育、地域に根ざした研究・社会貢献活動を通して、九州を基盤とした「地域密着型大学」を目指す。

推進領域

支援領域

教育分野

研究分野

社会貢献分野

人材育成分野

経営基盤分野

教育改革の着実な実行

研究力の強化

地域貢献活動の強化

人事トータルシステムの構築

安定した経営基盤の確立

学生支援の強化

研究活動の活性化

地域連携活動の強化

職場環境の整備

広報戦略に基づく広報  
公聴活動の推進

実行計画

数値目標

志願倍率(志願者数) 6倍(15,000人) / 在学者数 11,000人 / 女子学生比率 30% / 就職決定率(希望者) 100%

PDCAによる点検・評価

# 実行計画(各部所への周知資料)

領域	分野	項目	重点施策	具体策
推進	教育	1 教育改革の着実な実行	① 学部・学科の再編	社会のニーズを踏まえた独自性・特色のある学部・学科への再編実施
			② 大学院の抜本的改革	学部教育と接続した魅力ある高度専門教育への転換
			③ 学生の成長を促進する教育プログラムの推進	ポリシー(C P・D P)の明確化、基盤教育及びプロジェクト型教育の深化、横断型カリキュラムの導入、ICTを活用した教育の展開、自校教育及び地域理解を深める教育の導入 など
			④ 教育成果の検証による教育力の向上	教育成果検証委員会(仮称)の設置(IRの活用) など
			⑤ 入試制度改革の早期実行	ポリシーの明確化(A P)、入試制度改革
			⑥ 高大接続の強化	付属高校をはじめとする連携強化策の実施
		2 学生支援の強化	① 学生の学びを促進する環境整備・強化	L A制度の推進、クラス担任制度の充実、図書館の役割・機能の見直し など
			② 除籍・退学・卒業延期者の削減	除籍・退学・卒業延期者削減にむけた多面的施策の実施
			③ 学生の海外留学促進・意欲ある留学生の獲得強化	海外留学を促す具体的施策の検討・実施、留学生の受入れ・育成方針の確立 など
			④ 課外活動の更なる活性化	サークル加入率の向上、ボランティア等地域貢献活動の推進 など
			⑤ 女子学生比率の向上	女子学生比率向上を目指した諸施策(支援体制・施設等)の実施
			⑥ 就職・進学実績の向上	教職員連携による支援体制の強化、早期進路決定の促進、インターンシップ機会の拡大
	研究	1 研究力の強化	① 特色ある研究の推進及び成果の公表	実用化研究の推進
			② 地域に寄与する研究の促進	地域の課題解決・活性化を図る研究の推進
			③ 外部資金の積極的獲得	特色ある研究促進による科研費の獲得強化、共同研究・受託研究の活性化
		2 研究活動の活性化	① 研究支援体制の再構築	教職協働による支援体制の構築、不正行為及び不正使用防止に関する教育の徹底
	社会貢献	1 地域貢献活動の強化	① 生涯学習機能の強化	社会人の学び直し、高齢者・女性・子ども等を対象にした学習機会の提供
			② 地域との交流促進	地域防災拠点としての機能整備、地域住民と交流する場(人的交流機会・施設)の検討 など
2 地域連携活動の強化	① 産学官連携の拡充	企業・自治体等との連携強化及び提案型事業参画の推進		
支援	人材育成	1 人事トータルシステムの構築	① 能力開発型の育成・評価・処遇等諸制度の構築	教職員育成プログラムの構築・運用(FD・SD)、教職員評価制度の評価・運用、処遇制度の検討
		2 職場環境の整備	① 働きやすい、働きがいのある職場環境の整備	男女共同参画への意識醸成及び組織的な取組みの実施、福利厚生整備 など
	1 安定した経営基盤の確立	① 組織力の強化	役割・責任体制を明確化した機能的組織への再構築、PDCAサイクルの実質化、IRの推進	
		② 将来を見据えたキャンパス整備	キャンパスマスタープランに基づく整備計画の着実な実施	
		③ 安定的な財政基盤の確立	入学定員の減員・キャンパス整備計画等を見据えた適切な財政運営 など	
		④ 保護者・卒業生との連携強化	三者(学園・後援会・同窓会)の協力による連携体制の強化	
		⑤ 志願者の獲得強化	志願者の更なる獲得強化に向けた施策の実施	
	2 広報戦略に基づく広報、公聴活動の推進	① 活動計画に基づく広報・公聴活動	目的・対象を明確にした広報活動、継続的な情報収集・共有・分析による改善、ステークホルダーへの積極的な情報の公表	